



## 組合員・社員と家族の生活を守り、モチベーション維持・向上を求める

申7号

### 2022年度年末手当等に関する緊急再申し入れ

### 団体交渉を行う！（その2）



**組合員・社員の声を受け止めて、  
回答を再考すべきだ！**

▲離職が加速する！

●やりがいモチベーションを維持できない！

■物価上昇に賃金が追いついていない！

●こんな安い賃金で変革 2027 の諸施策・組織再編・業務の融合などを精一杯頑張ろうと思えない	▲コストダウンという言葉が無駄な人件費は削るといふ風に聞こえてしまう。頑張り損な状況、沈みゆく船に乗っている環境では、やる気を削いでいるのは会社だということを実感すべきだ	▲お金を理由に辞めていく同期の退職手続きをする身にもなってほしい
■年末手当や賃金だけでなく、住宅や住宅援助の廃止など、福利厚生を含めて生活が苦しくなった	●只見線開業に向けて運転再開を実現し、安全安定輸送で価値創造も担って頑張ってきたのに、これでは報われなさすぎる	●覚悟があるのなら役員自らが身を切るべきだ
●営業職場⇒お客様の増加を肌で感じるが会社の方針で窓口閉鎖、長蛇の列となり丁寧な接客と発券速度と相反することを求められ苦勞している	■エルダー組合員は基本給が低く抑制されており、毎日の生活も辛く、年2回のボーナスを切り崩して生活費に充てている。このような低額回答ではやってられない	■私たちは決して贅沢な暮らしを求めているわけではない。健康で文化的な最低限度の暮らしを求めているだけである
▲大企業である JR にいれば安心と思って入社したが、これでは中小企業でも、もっと安心して働ける会社があると思って調べている	●車両センター⇒大幅な要員削減、過度な出張・研修・委員会・マイプロで働くゆとりをなくしている。その結果が検査周期切れだ	▲更なる一層のチャレンジでは、社員の心は会社からどんどん離れていく
●運輸職場⇒自分のキャリアプランと反する駅業務との融合や兼務・連携ジョブローテーションを担ってきた	▲やりがいがない・働きがいもない・対価もないこんな会社にもつまらない。退職しようと考えてしまう	●統括センターになってからも勉強会や Web 資料の作成とか、前より仕事増えたけどこれしか貰えないなら頑張るのがもうバカバカしい
■幹部が来てもうれしくない。私たちが切実に欲しいのは今日、明日を家族と仲間と共に生活するための賃金だ	●苦しい中でも奮闘し黒字化してきた。その評価が夏よりたった 0.1 ヶ月上乗せの低額回答ではモチベーションは絶対に上がらない	▲コロナ禍の中、支社社員含む現場の社員一人ひとりが不特定多数の感染リスクの中、奮闘しているにもかかわらず、それに対しての誠意が全くない。組合員・社員の創意工夫、苦勞があつての黒字転換であることは非の打ち所がない明らかな現実。それに見合った回答がされなければ、モチベーションダウンは一気に加速し、さらに魅力もなくなり離職率は上がるのではないかと思う
●変革 2027 やコロナ対応、増収活動等会社の施策に最大限向き合ってきたことが全否定されたようで馬鹿馬鹿しく思ってしまう	▲4000 人の削減を公表しているのだから、離職が増えてラッキー程度にしか思っていないのではないか	●地方ローカル線の問題も抱え、我々は将来に対し漠然と大きな不安を抱きながらも、日々安全安定輸送に貢献している。このような回答では明るい未来が全く描けない
▲離職で人が減れば要員は今以上に厳しくなり、安全レベルの低下につながる	●工務職場⇒会社発足にして最大の変革期に私たちがより高い労働力を提供していることを会社はわかっていない。私たちはコマじゃない	
■黒字化してきたのに、その評価が夏よりたった 0.1 ヶ月上乗せの低額回答ではモチベーションは絶対にあがらない		